

トキと自然の学習館 便り

～11月の出来事～

令和4年11月
VOL.61



できごと
出来事

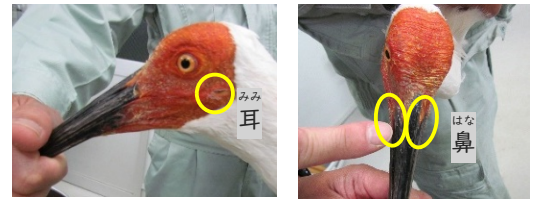
①

トキのからだ

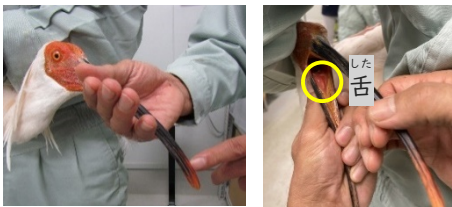
14日(月)、「トキみ〜て」で公開しているオス5羽の一年に一度の健康診断がありました。今月号では来館者からよく聞かれるトキのからだについて、間近で撮影した貴重な写真とともにお答えします。

Q.耳と鼻はありますか？

あります。耳は目の斜め下にあるへこんだ部分です。トキの顔には毛がないため見つけやすいです。鼻の穴はクチバシの上に二つあります。幼鳥の頃、鼻水や鼻ちょうちんを出している姿が見られます。



Q.長いクチバシでどのようにエサを食べているのですか？



トキのクチバシの先端の赤い部分には神経が集中していて、鋭い感覚があります。人間の体に例えると指です。この先端で獲物を探り捕えると、短い舌の上に放り込み、丸のみします。クチバシは折れてしまうと出血し、再生することはありません。羽と同じくらい生きていくために大切なものです。

Q.泳げますか？

トキは泳げません。また水面に浮くこともできません。趾に水かきがあります。泳ぐことができるマガモと比べるとかなり小さく、田んぼや畦など湿地でも歩きやすくなっています。佐渡から本州へ渡ってくるトキがいますが、途中休憩するような陸地はないので、泳ぐことも浮くこともできないトキは休むことなく海上を飛び続けていることが伺えます。



マガモの趾

トキの趾

(画像:新潟県東鳥センター 紫雲寺さえずりの里 HPより)

Q.オスとメスの違いはどこですか？



トキの性別は血液検査で判定しています。「外見から分からないのですか？」とよく聞かれますが、非常に困難です。オスもメスもお尻に「総排泄腔」という穴が一つあり、ここから糞尿排出、交尾、メスの場合は産卵します。人間の目で正確な判別はできませんが、トキ同士は性別を認識できているので、鳴き声なのか匂いなのか… 私たちには分からない何か違う所があるのだと思います。

今年の冬は…

できごと
出来事

②



学習館敷地内でカマキリの卵を見つけました。その位置は高さ約80センチの所。今年はこの卵が埋まらない程度の積雪ですむのか…。

みなさんにとって過ごしやすい冬になることを願って、静かに見守りたいと思います。